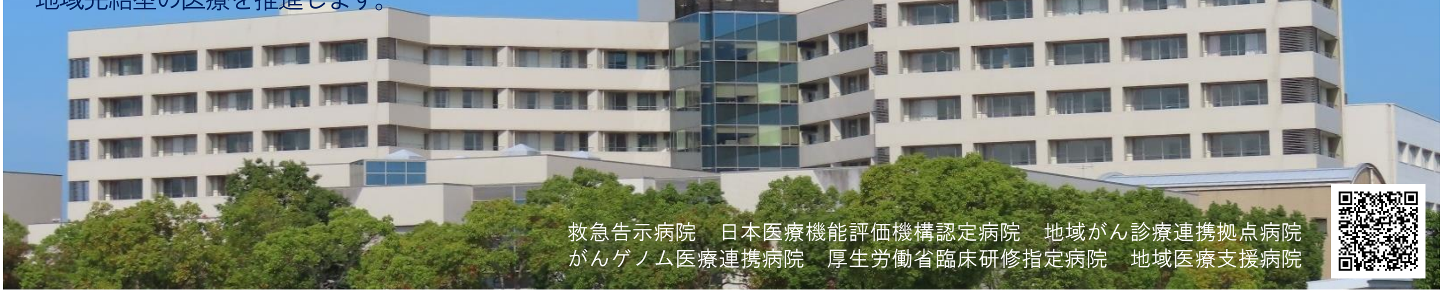
いつも あなたの すぐそばに

市立長浜病院
地域医療連携だより

令和７年９月１日号
No.246

理　念
地域住民の健康を守るため、
「人中心の医療」を発展させ、
地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
患者総合支援センター　地域医療連携室



救急告示病院　日本医療機能評価機構認定病院　地域がん診療連携拠点病院
がんゲノム医療連携病院　厚生労働省臨床研修指定病院　地域医療支援病院

謹啓　時下益々ご清栄のこととお喜び申しあげます。平素は当院の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。９月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けしますので、ご査収ください。　敬白

遺伝子診療科のご紹介

遺伝子診療科　小杉（こすぎ）　眞司（しんじ）

令和５年６月より、遺伝子診療科を開設し、遺伝に関係する様々な課題に対応できるように体制を整えています。原則、第２・第４木曜日の午前中に、非常勤医師として、臨床遺伝専門医の小杉眞司が担当しています。患者さんやそのご家族の課題に、より身近に取り組めるよう非医師の遺伝の専門家である認定遺伝カウンセラーとともに対応しています。令和７年１月からは村上裕美が勤務させていただいています。

遺伝について、不安や疑問のある方、例えば、「遺伝病について詳しく知りたい」、「がん家系なので心配」、「遺伝子検査をすすめられた」、「家族が遺伝病で、自分もあてはまるか知りたい」、「遺伝子検査を受けたい」などの場合があると思います。

現在は院内からの紹介のみ受け付けていますので、まずは、主治医を通してご依頼ください。予約日時を決定後、臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーで遺伝カウンセリングを行います。今後は院外からも対応できるように体制を整備しているところです。保険診療の適応の場合とそうでない場合があり、後者の場合は、自費診療になる場合がありますので、費用等もご確認をお願いいたします。

当院は「がんゲノム医療連携病院」に指定されており、がんゲノム診療科を中心に「がん遺伝子パネル検査」を実施しています。「がん遺伝子パネル検査」はがん細胞に起こった後天的な遺伝子の変化を調べることにより、より有効な治療薬を調べることを目的としていますが、時に生まれつきの遺伝子の違いによりがんにかかりやすい体質（遺伝性腫瘍といいます）がわかることがあります。その場合にもがんゲノム診療科と連携して対応を行わせていただいています。

私自身は、長浜市と京都大学の共同事業である「ながはま０次予防コホート事業」に２００５年の最初から関わらせていただいています。ゲノムや遺伝の情報も含めて健康づくりに役立たせることを目標として２０年以上にわたり継続的に実施しているものです。当院のヘルスケア研究センターでは、「ながはま０次予防コホート事業」に伴う健診業務も実施しているとともに、新たな知見に基づいた健康管理に役立てることを目指した研究にも従事しています。国は「ゲノム医療推進法」を制定し、ゲノム情報を適切かつ有効に医療に役立てていく方針を示しており、遺伝子診療科はその役割を果たしていく所存です。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

もっと市民に愛される病院へ　がん看護専門看護師の外来支援

がんゲノム診療科・腫瘍内科・遺伝子診療科　看護師　山岸　美紀

毎週火～木曜の３日間、がん看護専門看護師（OCNS）としての１５年の経験を活かし、がんゲノム医療コーディネーター（CGMC）・遺伝性腫瘍コーディネーター（HTC）を担い、３科で活動しています。

近年、がん医療は患者さんにとって最も効果的で副作用の少ない治療が選択・提供されるよう、個別化・最適化が進められています。がんゲノム診療科では CGMC として検査の進捗管理の他、がん遺伝子パネル検査を希望される方への補助説明や意思決定支援、家系図の作成を行い、院内の関係部門と協働し、“個々人のがんの特性に応じた”正確な治療提案ができるよう努めています。また腫瘍内科では主に OCNS として専門看護師の視点を活かし、“患者さんの病状や生活に応じた”サポートを、外来スタッフと模索しながら行っています。

遺伝子診療科では HTC として、検査で遺伝性腫瘍が疑われる方をスムーズに遺伝子診療科の専門家に橋渡しできるよう、今年度は院内だけでなく院外からも受け入れができるよう体制の整備に取り組んでいます。

がん遺伝子パネル検査に関するご相談は『がんゲノム診療外来』、遺伝性腫瘍に関するご相談は『遺伝子診療外来』まで、気軽にお問い合わせください。

医師の異動（９月）

- 着任（令和７年９月１日付）　ありません
- 退職（令和７年８月３１日付）　ありません

医療従事者研修会の開催について

■ 第３５３回　開放型病床生涯教育研修会

日　　時：令和7年１０月２日（木）１７：３０～１８：４５
演　　題：『ゲノム医療と遺伝カウンセリング』
講　　師：京都大学大学院医学研究科　ゲノム医療学
　　　　　小杉　眞司　先生、村上　裕美　先生
会　　場：市立長浜病院　本館２階　講堂
※　申し込み方法等の詳細は、別紙チラシをご参照ください。

患者総合支援センター 新スタッフのご紹介

看護師　鐘居　碧

７月より地域医療連携室退院支援グループへ異動となりました。以前は急性期病棟を経て療養病棟で勤務しておりました。

患者様、家族様が納得し安心して退院できるよう支援していきたいと思います。病棟とは全く違う業務内容ではありますが、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

湖北がんフォーラム2025を開催しました

第１部　講師　寺本先生

７月２７日（日）に、湖北がんフォーラム２０２５を長浜文化芸術会館で開催し、猛暑の中、多くの市民の皆さまにご参加いただきました。今回のフォーラムは、「患者さんに寄り添うがん医療 ～がんになっても安心して治療をうけるために～」をテーマに、患者さんにしっかりと寄り添うがん医療の現状について一緒に学びました。

第１部では滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍内科・腫瘍センター 特任准教授寺本晃治先生から「ともに語らい、寄り添う令和の時代のがん医療～最善を期待して、最善を尽くす～」を演題にがん医療の現状をお話いただきました。

また、第２部では「湖北地域でできること」として、当院 呼吸器内科責任部長野口哲男先生、長浜赤十字病院 外科部長 谷口正展先生、そして長浜市立湖北病院内科部長 久田祥雄先生からそれぞれの病院での取組状況をお話いただきました。

参加された方からは、「がん治療の最新情報を知ることができ、自分が罹患した際にも落ち着いて対処できそうです」「患者に寄り添って、一人ひとりに適切な治療が行われていることを知り安心しました」など高い評価を多数いただきました。

第2部　講師
野口先生・谷口先生・久田先生